

めあて

本論2の筆者の「説明の技」を読み取ろう。

説明の技 その一 ≪文章構成≫

現状 ↓ 具体的な取り組み ↓ 課題 ↓ 解決策

本論1と似ている

説明の技 その二 ≪資料の示し方≫

⑮段落の文章を提示

⑰段落の文章を提示

⑱段落の文章を提示

何を示した図 … 伝えたい内容に合った資料

示した図の説明 … 折れ線グラフの変化

地図の分布  
立川町の風力発電の様子

本論1と似ている

【4/9時間目 指導路案】 使用するワークシート「未来に生かす自然のエネルギー」④  
活動のねらい

文章構成や資料の示し方に着目しながら、本論2を読み取らせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

○ 本論1の「説明の技」を振り返らせ、同じように本論2を読み取っていくことを確認させる。

※ 本論1の筆者の「説明の技」には、文章構成と資料の示し方の二つがあったことを振り返らせましょう。

2 本論2の筆者の「説明の技」を読み取る。

○ 本論2の文章構成が「現状」↓「具体的な取り組み」↓「課題」↓「解決策」という順に説明していて、本論1と似ていることに気付かせる。

※ 2/9時間目に文章の構成を考えさせているので、ここでは文章構成表を確認させます。

3 ⑮⑰⑱段落から「説明の技」を見付ける。

○ 本論2には図④⑤と写真が示されていること、また、それぞれの図や写真の説明が⑮⑰⑱段落に示されていることを確認させる。

※ ⑮⑰⑱段落の文章を黒板に提示します。図④⑤と写真は電子黒板で提示します。本論1で読み取った資料の示し方が本論2でも使われていることに気付かせる。

○ 何を示した図であるかを書いている。  
・ その図から読み取れることを具体的な数字などしながら説明している。

※ ⑮段落や⑰段落も、筆者が伝えたい内容にあった資料を選んだ上で、折れ線グラフの変化や地図の分布について説明していることに気付かせます。

※ 図③を電子黒板で提示し、この図の使い方についても「説明の技」の一つとして捉えさせます。

4 筆者の「説明の技」についてワークシートにまとめる。

※ 「文章構成」と「資料の示し方」という二つの観点で、簡潔に書かせます。

評価 本論2の資料や具体例の示し方を読み取っている。

(イ1)

5 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 次時からは、これまでに読み取った筆者の資料の示し方を生かしながら、「持続可能な社会」を呼びかけるリーフレットを作成していくことを確認させる。